



2017年3月期 第1四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2016年8月3日



2017年3月期 第1四半期決算 サマリー



2017年3月期 第1四半期 実績

- 連結販売台数・連結売上高は5期連続で前年を上回り、第1四半期として過去最高を記録。
- 連結損益は、販売台数の増加や原価低減の進捗等があったものの、為替変動の影響や、エアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等、および試験研究費が増加し、営業・経常利益は5期振りの減益、親会社株主に帰属する当期純利益は4期振りの減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	7,694億円 (+41億円)	1,015億円 (-327億円)	1,188億円 (-113億円)	789億円 (-53億円)	245.2千台 (+20.0千台)

2017年3月期 計画

- 通期連結業績見通しは、為替変動およびエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用見通しを織り込み、期初計画から修正。見通しの前提となる為替レートは ¥106/US\$、¥121/EURO。連結販売台数は期初計画を据え置き。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆1,900億円 (-423億円)	4,000億円 (-1,656億円)	4,100億円 (-1,670億円)	2,850億円 (-1,517億円)	1,049.7千台 (+91.8千台)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

1



2017年3月期 第1四半期 実績

第1四半期実績 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 1Q実績	2017年3月期 1Q実績	増減
登録車	19.9	24.5	+4.6
軽自動車	8.1	6.6	-1.5
国内合計	28.0	31.2	+3.2
米国	140.4	155.0	+14.6
カナダ	13.9	15.4	+1.5
ロシア	1.7	1.9	+0.3
欧州	8.3	8.7	+0.4
豪州	11.3	12.0	+0.7
中国	10.1	9.5	-0.6
その他	11.5	11.4	-0.1
海外合計	197.1	214.0	+16.8
合計	225.1	245.2	+20.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～3月

3

2017年3月期 第1四半期の連結販売台数は、前年同期比2万台の増となる、24万5千2百台となり、第1四半期として過去最高を記録しました。

国内では、昨年10月に一部改良を行ったフォレスター、インプレッサの販売が順調に推移したことにより、登録車販売は前年同期比4千6百台増となる、2万4千5百台となりました。一方、軽自動車は昨年からの軽自動車税増税の影響などにより、前年同期比1千5百台減となる、6千6百台となりました。その結果、国内全体では前年同期比3千2百台増となる、3万1千2百台となりました。

海外では、重点市場である北米を中心にアウトバック、クロストレックの販売が好調に推移したことにより、前年同期比1万6千8百台増となる21万4千台となりました。

第1四半期実績 連結業績



(億円)

	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
売上高	7,653	7,694	+41
国内	1,245	1,303	+58
海外	6,408	6,391	-17
営業利益	1,342	1,015	-327
営業外損益	-42	+173	+214
経常利益	1,301	1,188	-113
特別損益	-9	-10	-1
税前利益	1,291	1,178	-113
親会社株主に帰属する 当期純利益	842	789	-53
単独為替レート	¥120/US\$	¥111/US\$	-¥10/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

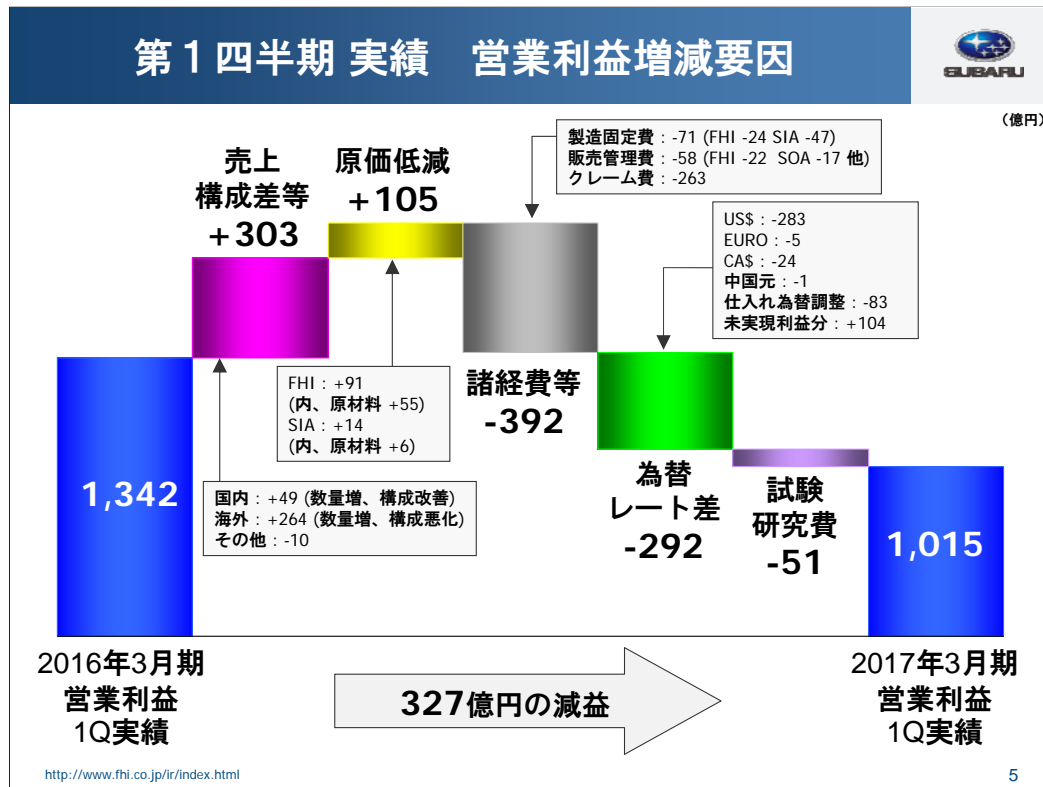
4

売上高は5期連続の増収、第1四半期として過去最高を記録したものの、営業利益・経常利益は5期ぶりの減益、親会社株主に帰属する当期純利益は4期ぶりの減益となりました。

売上高は、為替レート差により-687億円となりましたが、売上台数増加による売上構成差の改善+719億円に加え、カンパニー等での売上増加+9億円により、前年同期比 41億円の増収となる、7,694億円となりました。

営業利益は、販売台数の増加や原価低減の進捗等があったものの、為替変動の影響、およびエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費が増加したことにより、327億円の減益となる、1,015億円となりました。

経常利益は113億円の減益で1,188億円、税前利益は113億円の減益で1,178億円、親会社株主に帰属する当期純利益は53億円減益の789億円となりました。



続きまして、前期実績1,342億円から今期実績1,015億円へと、327億円の減益となった、営業利益増減要因です。増益要因は、

<1>売上構成差等で+303億円です。内訳は3つに分かれます。

- ①新車国内は+49億円です。軽自動車の台数落ち込みを、登録車がカバーし、数量・構成ともにプラスとなりました。
- ②新車海外は+264億円です。主に北米での販売台数増加が寄与しました。
- ③在庫調整等その他で-10億円です。

<2>原価低減で+105億円です。そのうち、富士重工が+91億円、SIAは+14億円です。富士重工では原価低減が+36億円、原材料・市況等については+55億円となりました。SIAでは原価低減が+8億円、原材料等は+6億円となりました。

一方、減益要因は、

<3>諸経費等の増で-392億円です。内訳は3つに分かれます。

- ①製造固定費の増加により-71億円です。そのうち、富士重工が-24億円、SIAは-47億円です。富士重工では、外製型費の減により+2億円、固定加工費の増で-26億円です。SIAでは、外製型費の増により-4億円、固定加工費の増加により-43億円となりました。
- ②販売管理費の増加で-58億円です。富士重工では、広告宣伝費等の増加、奨励金の増加などにより-22億円となりました。国内ディーラーは±0億円、SOAは-17億円、カナダ子会社は-15億円、その他で-4億円となりました。SOAにつきましては、広告宣伝費等は前年より減少し+12億円でした。
- ③クレーム費の増で-263億円です。

<4>為替レート差で-292億円です。

ドルは約10円の円高で-283億円、ユーロは約8円の円高で-5億円、カナダドルは約12円の円高で-24億円です。中国元は-1億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-83億円、未実現利益分で+104億円となりました。

<5>試験研究費の増加で-51億円です。

以上で、2017年3月期 第1四半期の連結営業利益は、327億円の減益となる、1,015億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2016年3月末	2016年6月末	増減
総資産	25,924	25,244	-680
流動資産	17,841	17,064	-777
固定資産	8,083	8,180	+97
負債合計	12,430	11,852	-578
有利子負債	1,700	1,654	-45
純資産合計	13,494	13,392	-102
利益剰余金	10,490	10,717	+227
自己資本	13,437	13,338	-99
自己資本比率	51.8%	52.8%	+1.0
D/Eレシオ	0.13	0.12	-0.01

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

続きまして、バランスシートです。

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ680億円減少の2兆5,244億となりました。

主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少640億円です。

負債につきましては、未払い法人税等の減少695億円などがあり、前期末に比べ578億円減少の1兆1,852億円となりました。なお、有利子負債は45億円の減少となる1,654億円となりました。

純資産につきましては前期末に比べ102億円の減少となる1兆3,392億円、自己資本比率は52.8%、D/Eレシオは0.12です。

第1四半期実績 連結キャッシュフロー



(億円)

	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
営業活動CF	1,097	621	-477
投資活動CF	-328	-647	-319
フリーCF	769	-26	-795
財務活動CF	-385	-610	-224
換算差額	37	-198	-236
現金及び現金同等物の増減	421	-834	-1,255
連結の範囲変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	-1	-	+1
現金及び現金同等物 合計	6,541	7,460	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、税前純利益1,178億円の計上、仕入債務の減少181億円、法人税等の支払1,042億円(昨年度584億円)などから、621億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、647億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、-26億円です。

財務活動によるキャッシュフローは配当金の支払い548億円や、社債の償還による支出100億円などにより610億円のキャッシュアウトとなりました。

第1四半期実績 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
売上高	3,613	4,079	+466
営業利益	168	219	+51
当期純利益	99	135	+36
小売販売台数(千台)	140.8	146.7	+5.9

SIA	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
売上高	1,326	1,496	+170
営業利益	33	28	-5
当期純利益	21	18	-3
スバル生産台数(千台)	57.8	65.1	+7.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売は、「アウトバック」及び「クロストレック」の販売が好調に推移したことにより、対前年5千9百台増の14万6千7百台となりました。

売上高につきましても、\$466Mの増収となる\$4,079Mとなりました。

営業損益につきましては、数量・構成差+64M、販管費の増-\$13Mにより、\$51Mの増益となる\$219Mとなりました。

SIAの売上高は、前年に対し+\$170Mの\$1,496Mとなりました。営業損益は、数量価格構成差+\$22M、原価低減活動+\$12M、固定費増-\$39Mにより、対前年-\$5Mとなる\$28Mとなりました。



2017年3月期 見通し

連結業績計画



(億円)

	2016年3月期 実績(a)	2017年3月期		増減 (b) - (a)
		期初計画	今回計画(b)	
売上高	32,323	31,700	31,900	-423
国内	6,054	6,103	6,103	+49
海外	26,269	25,597	25,797	-472
営業利益	5,656	4,200	4,000	-1,656
経常利益	5,770	4,200	4,100	-1,670
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,367	2,930	2,850	-1,517
単独為替レート	¥121/US\$	¥105/US\$	¥106/US\$	-¥15/US\$
連結販売台数	957.9 千台	1,049.7 千台	1,049.7 千台	+91.8 千台

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

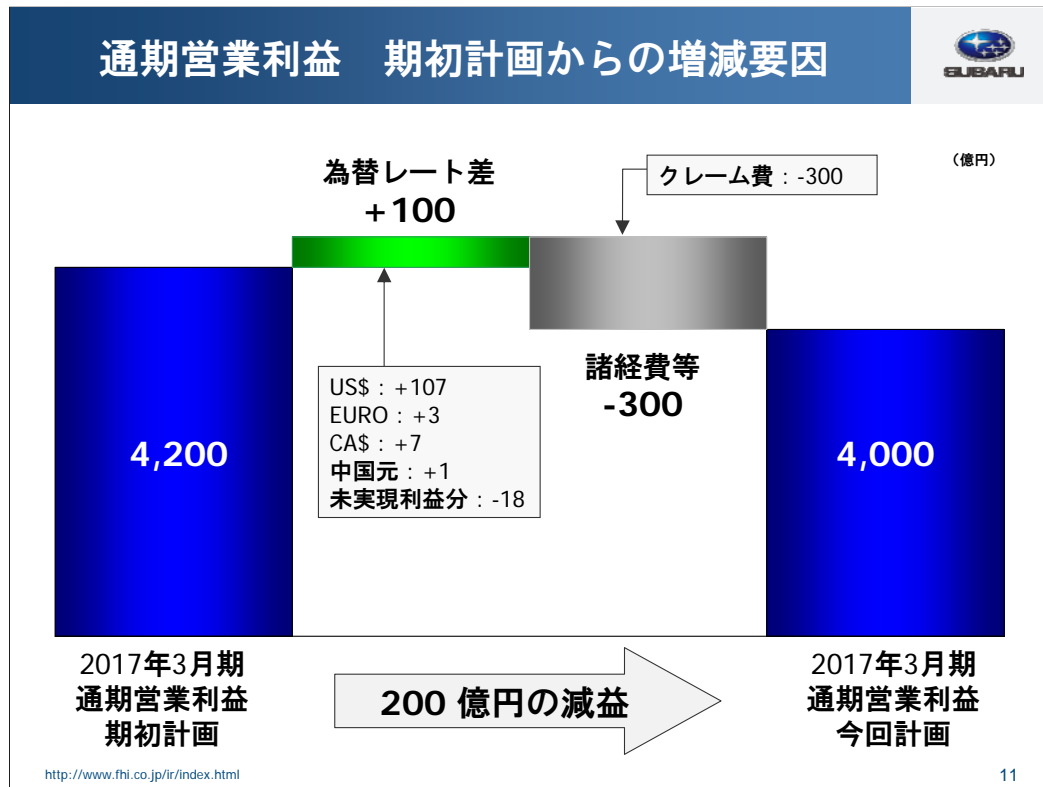
10

続きまして、2017年3月期の連結業績計画についてです。

2017年3月期通期連結業績見通しにつきましては、2016年5月12日に発表いたしました期初予想に対し、為替レートの変動による影響、およびエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用見通しを織り込み、売上高3兆1,900億円、営業利益4,000億円、経常利益4,100億円、親会社株主に帰属する当期純利益2,850億円へと今回修正します。

配当予想につきましては、期初発表値の中間72円・期末72円の年間144円より変更ございません。連結販売台数につきましても、期初発表値より変更ございません。

変化点についての詳細は次のページでご説明いたします。



まず、足元の為替変動を踏まえて、レートの見直しを実施致しました。

ドルは105円から106円。ユーロは120円から121円。カナダドルは80円から81円です。

これにより、期初計画から100億円の増益を見込みます。

内訳は次の通りで、ドルは約1円の円安で+107億円、ユーロは約1円の円安で+3億円、カナダドルは約1円の円安で+7億円、中国円で+1億円、未実現利益分で-18億円です。

一方、期初見通しを上回るエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を織り込み、諸経費等で300億円の減益を見込みます。

その他の増減要因につきましては変更はございません。

以上の結果、2017年3月期の通期営業利益は、期初計画値より200億円減益の4,000億円と致します。

これらを踏まえた通期計画の対前年での営業利益増減要因につきましては参考資料(21ページ)をご覧ください。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2016年3月期 1Q 実績	2016年3月期 通期実績 (a)	2017年3月期 1Q 実績	2017年3月期 通期計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	171	1,357	368	1,600	+243
減価償却費	154	650	159	800	+150
試験研究費	185	1,024	236	1,200	+176
有利子負債	2,011	1,700	1,654	1,650	-50

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

12

最後に、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債についてですが、これらにつきましては、通期計画の修正はございません。

生産能力増強のための投資や、将来商品に向けた試験研究など、計画に則った投資を行ってまいります。

次ページ以降は、セグメント情報や、各種指標等、ご参考となります。

以上で2017年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 通期業績計画
- ・ 第2四半期累計業績計画

第1四半期実績 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
金融収支	6	6	+0
為替影響	-46	+171	+218
その他	-1	-5	-4
営業外収支	-42	+173	+214
固定資産売却益	0	0	-0
投資有価証券売却益	1	1	+0
固定資産除売却損	-12	-10	-1
その他	1	-0	-2
特別損益合計	-9	-9	-1

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

第1四半期実績 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年 3月期 1Q 実績	2017年 3月期 1Q 実績	増減	2016年 3月期 1Q 実績	2017年 3月期 1Q 実績	増減
自動車	7,188	7,245	+56	1,288	993	-295
航空宇宙	358	352	-6	44	17	-27
産業機器	90	80	-10	2	-3	-5
その他	17	17	+0	7	6	-0
消去・全社	/	/	/	2	2	+0
合計	7,653	7,694	+41	1,342	1,015	-327

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

15

第1四半期実績 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年 3月期 1Q 実績	2017年 3月期 1Q 実績	増減	2016年 3月期 1Q 実績	2017年 3月期 1Q 実績	増減
日本	2,140	2,217	+76	1,009	667	-342
北米	4,872	4,871	-1	266	240	-26
その他	640	606	-34	27	16	-12
消去・全社	/	/	/	39	93	+53
合計	7,653	7,694	+41	1,342	1,015	-327

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

第1四半期実績 連結海外売上高



(億円)

	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
北米	5,183	5,177	-6
欧州	272	269	-2
アジア	551	531	-20
その他	403	413	+10
合計	6,408	6,391	-17

第1四半期実績 単独販売台数



(千台)

	2016年3月期 1Q 実績	2017年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	171.0	179.4	+8.4
国内売上	31.3	32.8	+1.5
登録車	21.7	26.0	+4.3
軽自動車	9.6	6.8	-2.8
輸出台数	137.2	148.2	+11.0
海外生産用部品	54.5	75.2	+20.8
単独売上合計	223.0	256.3	+33.3

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
登録車	111.6	119.0	+7.5
軽自動車	33.7	37.3	+3.6
国内合計	145.3	156.3	+11.0
米国	582.7	643.1	+60.4
カナダ	47.6	52.6	+5.0
ロシア	5.7	9.6	+3.9
欧州	41.8	40.1	-1.7
豪州	44.6	48.2	+3.6
中国	44.4	48.5	+4.1
その他	45.8	51.2	+5.4
海外合計	812.6	893.4	+80.8
合計	957.9	1,049.7	+91.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 19

通期計画 連結業績



(億円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	増減
売上高	32,323	31,900	-423
国内	6,054	6,103	+49
海外	26,269	25,797	-472
営業利益	5,656	4,000	-1,656
経常利益	5,770	4,100	-1,670
税前利益	6,190	4,030	-2,160
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,367	2,850	-1,517
単独為替レート	¥121/US\$	¥106/US\$	-¥15/US\$

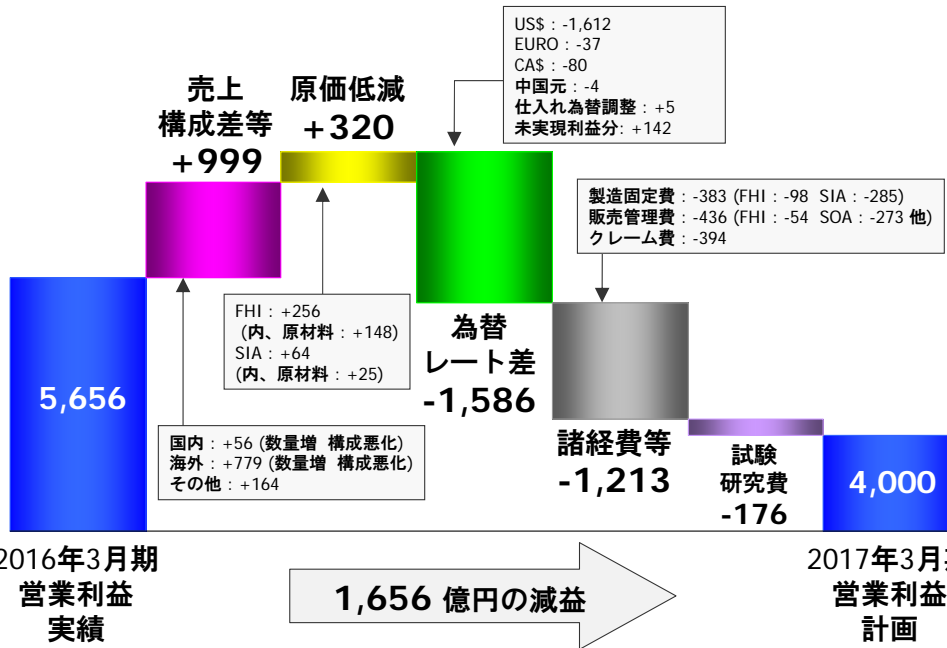
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

通期計画 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

21

第2四半期累計計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2016年3月期 2Q累計 実績	2017年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	49.8	50.5	+0.7
軽自動車	16.7	14.6	-2.1
国内合計	66.5	65.1	-1.4
米国	290.6	315.1	+24.5
カナダ	26.1	28.2	+2.1
ロシア	3.5	5.3	+1.9
欧州	19.6	19.3	-0.3
豪州	23.0	22.3	-0.7
中国	20.5	24.0	+3.5
その他	22.5	22.5	+0.0
海外合計	405.7	436.7	+31.0
合計	472.2	501.8	+29.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月 22

第2四半期累計計画 連結業績



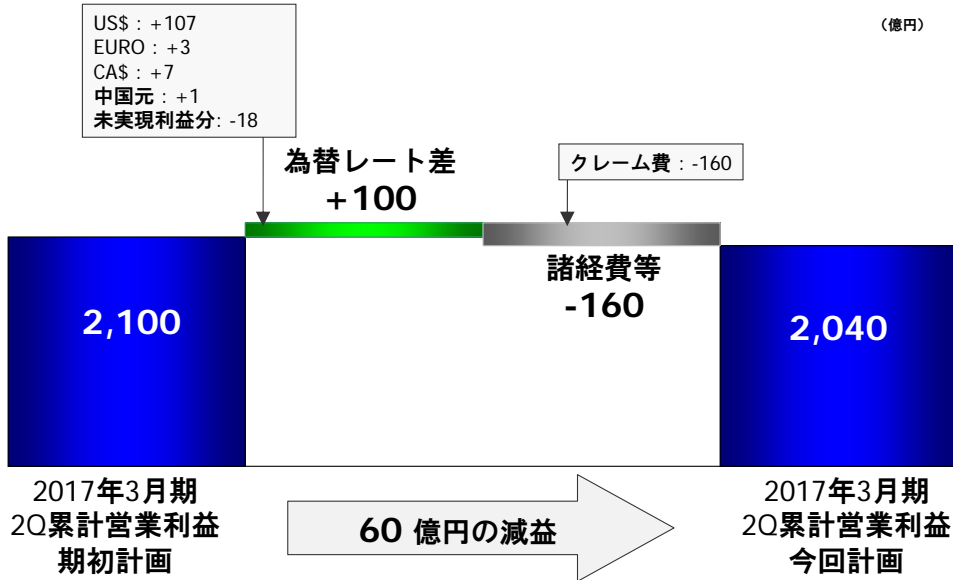
(億円)

	2016年3月期 2Q累計 実績(a)	2017年3月期 2Q累計		増減 (b) - (a)
		期初計画	今回計画(b)	
売上高	16,015	15,335	15,535	-480
国内	2,852	2,796	2,796	-56
海外	13,163	12,539	12,739	-424
営業利益	2,851	2,100	2,040	-811
経常利益	2,850	2,140	2,140	-710
税前利益	2,831	2,120	2,120	-711
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,932	1,480	1,480	-452
単独為替レート	¥122/US\$	¥105US\$	¥107US\$	-¥15/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

第2四半期累計営業利益 期初計画からの増減要因



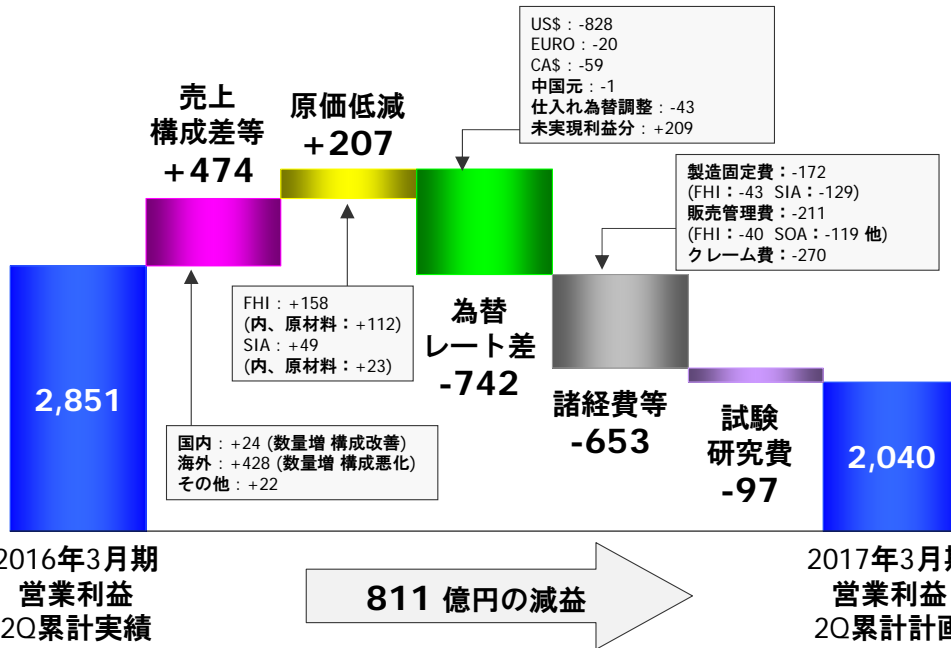
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

第2四半期累計計画 営業利益増減要因



(億円)



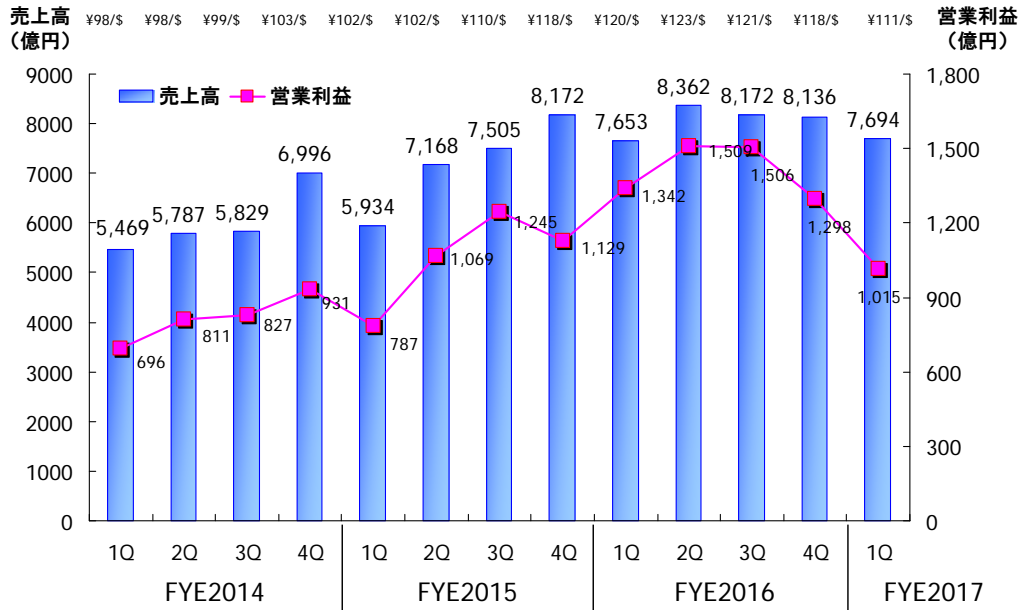
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

25

ご参考 (2)

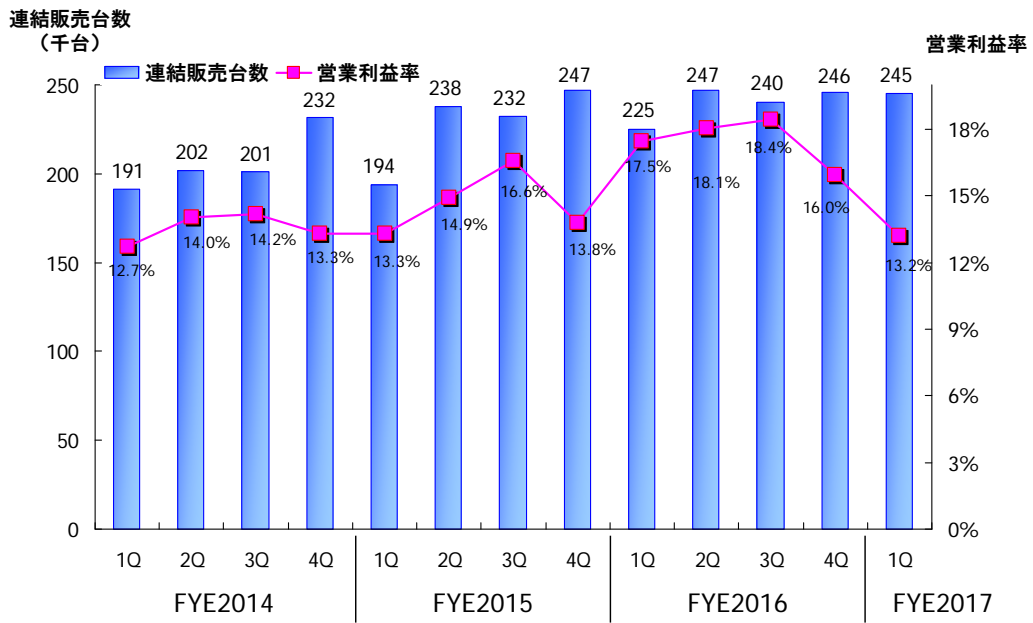
- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

売上高 / 営業利益 推移



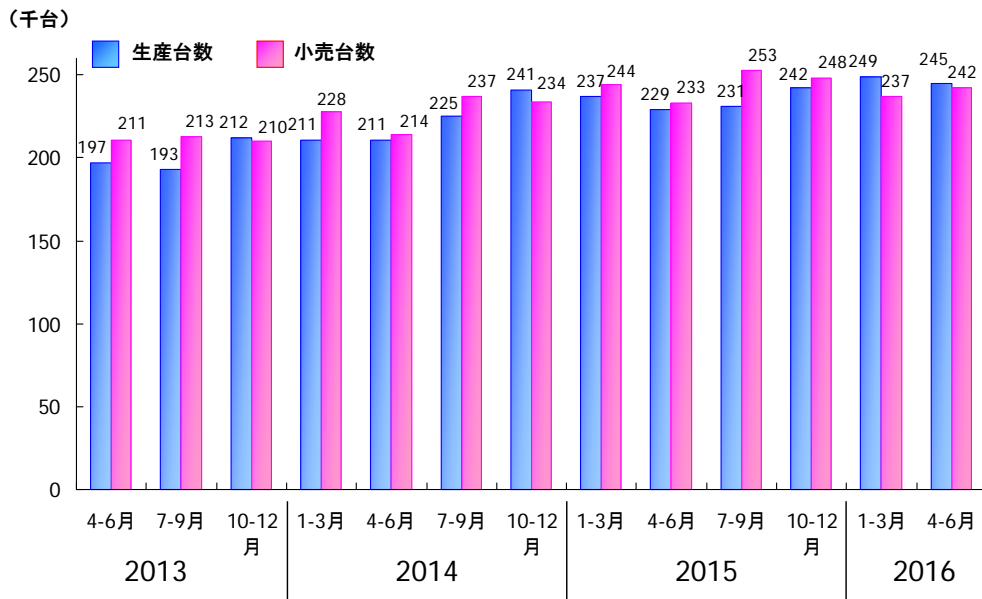
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

連結販売台数 / 営業利益率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

生産台数 / 小売台数 推移

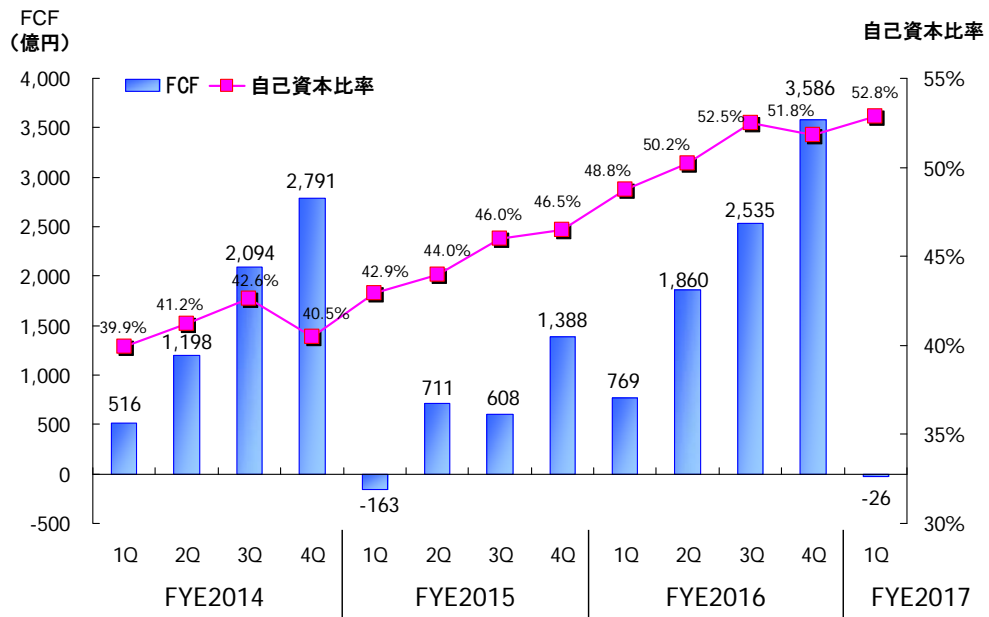


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

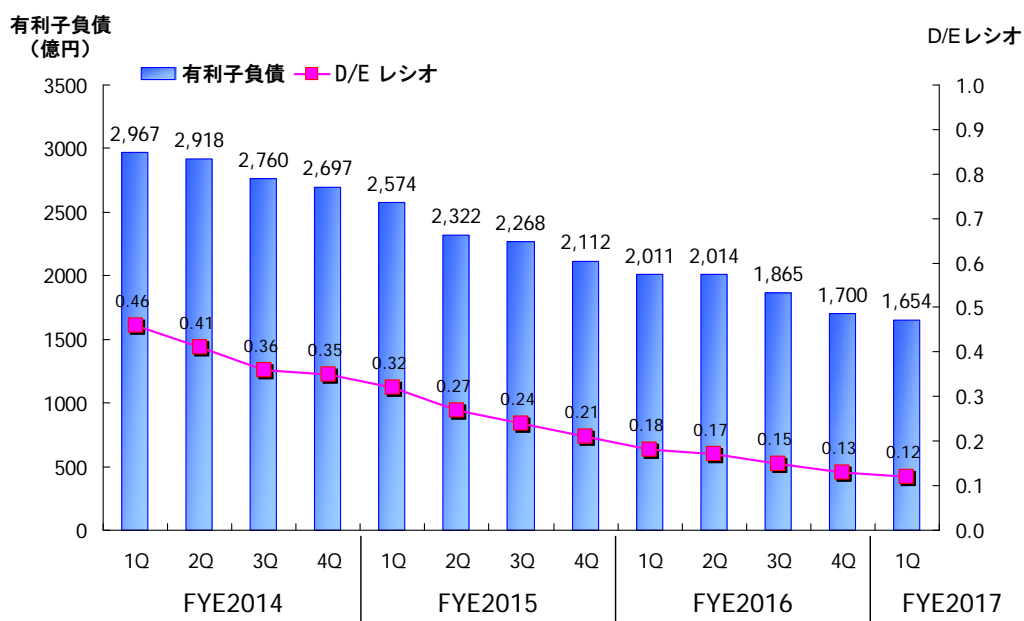
FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

30

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

31

第1四半期 主な広報発表案件



(発表日)

生産・販売関係

- ボーイング777X向け中央翼組立工場が完成 (4/27)
- 水平対向エンジン発売50周年を迎えて (5/10)

商品関係・モータースポーツ関係

- WRX S4/STIを改良 (4/11)
- 特別仕様車「SUBARU XV 2.0i EyeSight Proud Edition」を発表 (5/10)
- SUBARU WRX STIがニュルブルクリンク24時間レースでクラス優勝 (5/30)
- SUBARU WRX STIがマン島TTコースで最速記録を樹立 (6/7)
- ステラを改良～ステラカスタムに新グレードを追加～ (6/21)
- 「レヴォーグSTI Sport」を発表 (6/27)

その他

- 日本IBM 高度運転支援システム分野での協業を開始 (4/25)
- 2017年4月より「株式会社SUBARU」に社名を変更 (5/12)
- 2016年10月より産業機器カンパニーをスバル自動車部門へ統合 (5/12)
- 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ (5/12)
- 「自動車リサイクル法」による2015年度再資源化等の実績を公表 (6/1)
- 日立とタブレット端末を活用した商談支援システムを構築 (6/3)
- 「SUBARU残価設定型クレジット安心プロテクト3」の導入 (6/16)
- 「SUBARU自動車保険プラン“6 Stars Collection”」を発売 (6/27)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

32



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>